



秩父 巡礼

Chichibu Pilgrimage

2018
7/10 tue. ▶ 9/15 sat.

前期 7/10 tue. ~ 8/4 sat.

後期 8/22 wed ~ 9/15 sat.

図版 = 《観音霊験記 秩父順禮》大判錦絵、安政6年(1859)より 左上:「一番 四萬部寺 幻通比丘」[前期展示] / 右上:「二拾四番 白山 光智山法泉寺 恋ヶ窪の遊女」[後期展示] / 左下:「二十番 岩の上 別當内田定金 寺尾村の孝子」[後期展示] / 右下:「八番 青苔山西善寺 唄念仏」[前期展示] (いずれも当館蔵)

秩父巡礼

前期 7/10 tue. ~ 8/4 sat. 後期 8/22 wed. ~ 9/15 sat.

埼玉の歴史と文化に触れるⅡ
History and Culture of Saitama Ⅱ

Chichibu Pilgrimage

※《観音霊験記 秩父順礼》34点を前期・後期にわけて展示します。

寺社参詣は、人々の信仰心を高めるものとして、貴族や修験僧、僧侶など特定の身分において古来より行われていました。時代が下るにつれて民衆化し、江戸時代では、経済の発展や交通網の整備が気軽な旅へと人々を誘い、「江ノ島詣」や「伊勢参り」の大流行を生み出すなど、「信仰」としてだけではなく、「物見遊山」としてもより身近な対象になっていきます。

本展では、埼玉県秩父市に点在する三十四ヶ所の観音霊場を廻る秩父巡礼を取り上げます。秩父巡礼は、当初、西国三十三札所、板東三十三札所にならい、三十三の札所を巡るものでしたが、17世紀前半頃より三十四の札所へと変わり、以降三つの巡礼を合せて「日本百観音」と呼び、広く親しまれるようになります。

このたびの展示では、百観音霊場を取り扱った浮世絵《観音霊験記》から秩父の部分を描いた《観音霊験記 秩父順礼》をご紹介します。本作は、各霊場の縁起を三代歌川豊国が描き、境内の景観を二代歌川広重が描いたもので、幕末期の観音霊場紹介の資料として貴重です。本展では、35点のうち目次以外の34点を前期と後期に分けて展示します。また、江戸時代から明治期にかけての秩父巡礼あるいは秩父に関する研究書や日記、絵図なども併せてご紹介。加えて、秩父三十四ヶ所の各札所を中心に、秩父の自然や文化を紹介するパネル展示も行います。本展を通して、巡礼地として信仰性豊かな、自然と文化に溢れた歴史ある秩父の魅力をお楽しみいただければ幸いです。



1



2



3



4

1・2・3・4.《観音霊験記 秩父順礼》大判錦絵、安政6年(1859)より「十三番 旗下山慈眼寺 火災の利益」[前期展示]「十七番 定林寺 林太郎定元」[前期展示]「廿九番 笹の戸見目山長泉院 龍女」[後期展示]「三拾四番 日濁山水潜寺 札立峠」[後期展示] ※1~4:当館蔵

5.『秩父順礼之縁起』正徳4年(1714) / 6.竹村立義『秩父順拝記』文政6年(1823)、6巻6冊のうち3巻 / 7.橋本徳瓶《秩父独案内》間倍判錦絵、文化10年(1813) ※5~7 埼玉県立図書館蔵、5、6は史料保護の為、会期中頁替えを行います



5



6



7

関連企画

学芸員によるスライドトーク 日時：7月21日(土)、9月1日(土)各回午後2時~(40分程度)
(展示の見どころをスライドで解説します) 場所：城西大学水田記念図書館 2階視聴覚室 ※申込不要

交通のご案内 / Access



■電車の場合
東武東上線坂戸駅乗換えて東武越生線川角(かわかど)駅下車、踏切を渡り徒歩10分
By train: From Sakado station of the Tōbu-Tōjō Line, take the Tōbu-Ogose Line and get off Kawakado station. It is a ten minute walk to the university.

■お車の場合
1. 関越自動車道鶴ヶ島インター下車、鶴ヶ島方向に進み国道407号線を直進
2. 「脚折四丁目」交差点で右折し、右に狩野動物病院の看板がある交差点で右折
3. 一本松交差点を毛呂山方面に直進
4. 橋(万年橋)を渡り、「明海大学病院」の看板のある交差点を左折し直進、踏切を渡り坂道を上がる(約20分)



城西大学水田美術館 350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
1-1 keyaki-dai, Sakado-shi, Saitama 350-0295 JAPAN
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY Phone: 049-271-7327 http://www.josai.ac.jp/~museum/